

「彩文土器と銅石器時代の生活世界  
—紀元前 5 千年紀イラン南西部における土器生産組織と村落の変化—」  
補助資料

三木健裕

■基本情報

マルヴ・ダシュト平原の遺跡群

タル・イ・バクーン A：遺跡名

イラン南西部、ザグロス山脈南麓、ファールス地方、マルヴ・ダシュト平原に所在する**銅石器時代**<sup>1)</sup>の遺跡である。アケメネス朝時代の宮殿群である世界遺産ペルセポリスの近傍にある。南北約 150 m、高さ 4 m の楕円形の丘（テル）である。**バクーン期**<sup>2)</sup>（およそ紀元前 5000-4000 年）のうちで最初に発掘された遺跡である。1928 年に E. ヘルツフェルト、1932 年と 1937 年に A. ラングルドルフと D. マッカウンによって遺跡の北部・中央部・南部で大規模な発掘がなされている。幾何学文様、人間、巨大な角を持ったヤギなどの文様が、出土した彩文土器にみられる。発掘によって出土した遺物の大半はシカゴ大学オリエント研究所に所蔵されている。その後東京大学イラク・イラン遺跡調査団の江上波夫・増田精一も 1956 年に遺跡南西部で発掘を行っている。2004 年には A. アリザーデが発掘を行い、年代測定用の炭化物を採取した。およそ前 4500-4100 年と推定されている。

タル・イ・ギャブ：遺跡名

タル・イ・バクーン A 遺跡からおよそ 10 km 南東にある銅石器時代の遺跡である。高さ約 5 m、直径約 120 m でほぼ円形をなしている。1959 年東京大学イラク・イラン遺跡調査団の江上波夫、曾野寿彦によって発掘が行われ、遺跡中央部に発掘区が設けられた。深掘りがなされた GAT 区では全部で 20 層の堆積を確認することができた。建造物が数層にわたって検出されている。存続期間は放射生炭素年代測定から、前 4700-4500 年と推定される。

タル・イ・ジャリ A：遺跡名

タル・イ・ギャブ遺跡からおよそ 2 km 南西にある遺跡である。土器新石器時代 (III、II 層) から銅石器時代初頭 (I 層) の層がみられ、各層で建造物が確認されている。高さ 2.5 m、直径約 150 m である。東京大学イラク・イラン遺跡調査団の江上波夫、増田精一によって 1959 年に調査が行われた。1971 年に増田精一が調査を行い、最下層の III 層までを明らかにした。2004 年、アリザーデによっても試掘され、年代測定用の炭化物が採取された。I 層はおよそ前 5000 年と推定される。

## 注1) 銅石器時代

銅石器時代は西アジアにおいておよそ前 5200 年から 3000 年までの年代に付けられた時代区分である。メソポタミアでは前半期のウバイド 3-5 期 (およそ前 5200-4000 年)、後半期のウルク期 (およそ前 4000-3000 年) に分けられる。前半期には銅製品生産が開始されたほか、西アジアの広い範囲にウバイド彩文土器の影響を受けた土器がみられるようになる (参考文献 i, iii)。

## 注2) バクーン期

イラン南西部の銅石器時代前半期、およそ前 5000 年から 4000 年までの年代に付けられた時期区分である。タル・イ・バクーン A 遺跡を標式遺跡とする。メソポタミアのウバイド 3-5 期とほぼ同時期である。精巧に描かれた彩文土器が特徴的である。この彩文土器は精緻な粘土でつくられ、土器焼成窯を用いて 900 度近い焼成温度で焼成されたと考えられる。このような彩文土器をつくる技術は、メソポタミアにおいてイラン南西部よりも先に登場し、およそ前 5000 年からイラン南西部へと拡散していった。メソポタミアでは前 5 千年紀後半以降、彩文土器の文様が単純化・無文化していくのに対し、イラン南西部ではより一層複雑な文様が施されるようになる。(参考文献 i, ii)。

【参考文献】(おもに概説書;学術論文・専門書はレジュメに記載)

- i) 下釜和也 2013 「1.7 銅石器時代 (1)」西アジア考古学講義ノート編集委員会(編)『西アジア考古学講義ノート』27-30 頁 日本西アジア考古学会。
- ii) 足立拓朗 2013 「2.1 イラン」西アジア考古学講義ノート編集委員会(編)『西アジア考古学講義ノート』65-66 頁 日本西アジア考古学会。
- iii) 小泉龍人 2016 『都市の起源 古代の先進地域=西アジアを掘る』講談社選書メチエ。

## ■関連情報

イラン、マルヴ・ダシュト平原の先史土器 (日本語版)

[http://umdb.um.u-tokyo.ac.jp/DKoukoga/Marv\\_Dasht\\_Plain/top.php](http://umdb.um.u-tokyo.ac.jp/DKoukoga/Marv_Dasht_Plain/top.php)

・エンサイクロペディア・イラニカ内のイラン先史編年に関する記載 (英語版)

<https://www.iranicaonline.org/articles/fars-ix>

・シカゴ大学オリエント研究所収蔵品写真 (57 枚のスライド) (英語版)

[https://oi.uchicago.edu/gallery/prehistoric-mound-tall-i-bakun#8G3\\_72dpi.png](https://oi.uchicago.edu/gallery/prehistoric-mound-tall-i-bakun#8G3_72dpi.png)

・彩文土器の文様をデザインとして用いた、現代のシャツの紹介動画 (英語版)

[https://shaheddesign.com/product/stand\\_collar\\_henley-shirt\\_tal-e\\_bakun/](https://shaheddesign.com/product/stand_collar_henley-shirt_tal-e_bakun/)

以上